

- 作成—各自治会・ふれあいへの説明（7月） 8月 事業計画（素案）作成—各自治会・ふれあいへの説明（9月）
- 9月～10月 アンケートの実施（建設規模、建設資金、各部屋の概要などを示して意見をもらう）
- 10月～11月 事業計画案を作成し、地域説明会を開催する
（アンケートの結果を示して）
- 2019年1月 事業計画（案）の確定
- 4月 各自治会総会での事業計画（案）の議決
- 6月 町田市へ事業計画申請書の提出

3 その他の議論

(1) 自治会館の必要性について

- ・近隣の自治会館で利用率の低いところがある。利用率の低い原因を調査し検討の資とする。常駐の有無、利用申込方法、ネット申込み、鍵の管理、和室の設置などについて検討し、つくし野自治会館の利用率を上げる必要がある。（システム検討チームで検討する）。
- ・検討チームより先に、コンセプト、どんな機能を入れるのか、1階建か2階建か、有人か無人か、高齢者利用機能をどうするかなどの基本構想が先ではないか⇒これらのことも各チームで検討するとされた。
- ・事業計画申請書フォームの「1 自治会館の必要性と建設の目的」は総会で承認されているが、「(2) 建設の目的」について、具体的事例を記載し外部に分かりやすい資料とする（手持ち資料）。一例：町トレ、高齢者支援センターの利用、こども会、オレおれ講習など（システム検討チームで検討する）。
- ・事業計画申請書フォームの「1 自治会館の必要性と建設の目的（1）自治会館の必要性」の中の自治会の活動に「文化・福祉、環境・資源、市の広報活動の支援」をいれる。また、「災害対策の拠点」を「防犯・災害対策の拠点」とする。

(2) 近隣説明は作業部会で一回実施したが、9月くらいに具体的計画ができた段階で実施する。

(3) 利用料金（自治会は無償か否か等）、自治会は無料で有れば利用、木造か軽量鉄骨か、登録アドバイザーの活用、カフェに貸して受付を委託、など今後検討すべき課題が話し合われた。

(4) 議事録は各自治会で回覧する。回覧必要枚数を委員会から渡す。

4 農事センター跡地防災倉庫は、自治会連合の倉庫として設置する方向で、費用についても自治会連合、各自治会定例会で検討してもらう。